

第4回加須市魅力ある学校づくり審議会 次第

日 時：令和8年3月18日（水）
午後3時から

場 所：加須市役所4階 全員協議会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

- (1) 第3回審議会のおさらい及び策定スケジュールについて
- (2) 審議と同時並行で行ってきた意見募集等の結果について
- (3) 本市が目指す学校教育の姿の具体化について
- (4) 市域のブロック分け(検討単位)について【グループ協議】
- (5) 今後の取組について

4 閉 会

<配布資料>

○次第

○議題(1)関係

資料1 第3回審議会のおさらい

別紙 第3回審議会意見シート 主な意見等

資料2 「魅力ある学校づくり基本計画」策定スケジュールについて

○議題(2)関係

資料3 二十歳の集い参加者アンケート調査結果

資料4 市立小中学校の校長・教員アンケート調査結果

資料5 学校への基本方針出張説明実施結果

○議題(3)関係

資料6 「魅力ある学校像」のイメージの具体化

資料7 こどもたちにとってよりよい教育環境となる学級規模・学校規模

○議題(4)関係

資料8 市域のブロック分け(検討単位)について

図1 小中学校配置図

図2 小学校半径2kmの円

図3 中学校半径4kmの円

図4 町丁字別0～14歳人口密度

参考 児童生徒数及び学級数（令和7年度・令和13年度見込み）

○議題(5)関係

資料9 今後の取組について

第3回審議会のおさらい

【議題】

- ①本市が目指す「魅力ある学校像」のイメージの具体化について
- ②子どもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模について
- ③今後の取組について

議題① 本市が目指す「魅力ある学校像」のイメージの具体化について

- ・第2回審議会でのグループ協議の結果から導き出した、4つの「魅力ある学校像」のイメージ具体化のキーワードについて共有

議題② 子どもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模について(グループ協議)

- ・3つのグループに分かれ、小学校、中学校ともに、1クラスあたりどのくらいの人数が、1学年あたりどのくらいのクラス数が望ましいと思うかについて話し合い、最後にグループごとに協議の結果を発表



グループ協議



グループ発表

議題③ 今後の取組について

- ・現時点で想定している基本計画(素案)に盛り込む内容を説明
- ・二十歳の集い参加者アンケート、小中学校校長・教員アンケートについて説明
- ・市域全体をいくつかのブロックに分ける学校再編検討ブロック案の説明

第3回審議会意見シートの主な意見等について

- ・第3回審議会終了後、意見シートにより「学校再編検討ブロック案」や「児童生徒への意見聴取」について、委員の皆様のお考え等を伺い、その内容については「別紙」のとおり

【第3回審議会意見シート】主な意見等

| | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校再編検討ブロック案 | <p>【ブロックの分け方に関する意見】</p> <p>○中学校区ごとにブロック分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数や通学のことを考慮すると、最適ではないか。 ・小学校の統廃合が行われたとしても、中学校で同学年となるため、中一ギャップの解消になるのでは。 <p>○こどもの人口密度や減少数によるブロック分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の人口密度や児童数の将来推計の減少数が、ゾーンから理解できる形でブロック分けしてはどうか。 <p>○通学距離によるブロック分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学距離、時間は最大の関心事。この点をポイントとして、集約する小学校を想定してはどうか。 ・可能な限り、通学時間の平準化ができるブロック分けが望ましい。 ・通学圏（目安は2km以内）が重なる小学校の統廃合を進めるという観点もある。 <p>○複数の視点を踏まえたブロック分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域密着型」「児童生徒数が少ない地域」「小学校1学年2クラス以上、中学校1学年3クラス以上」といった視点を踏まえ、ブロック（ゾーン）分けをする。 ・具体的には、ブロックごとに「義務教育学校」「小中一貫型小学校・中学校」「現状維持（随時検討）」として整理する。 |
| | <p>【ブロック案に関連する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとの児童数の推移がわかる資料があるとよい。 ・現在の小・中学校の区割り、旧1市3町の区割りも白紙に戻して考えなければいけない。 ・今後の市の都市計画なども考慮すべき。 ・統廃合を進める場合、スクールバスによる送迎が必須となる。 ・通学路の安全対策をお願いしたい。 ・通う学校は自分で選択できるのか。また、新しい学校を開校するということもあり得るのか。 |
| 児童生徒への意見聴取 | <p>【意見聴取の手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年5月に実施し、回答率が高かったオンラインアンケートがよいのではないかと。 ・少人数のワークショップの場を設け、こどもたちが主体となって意見交換ができるとよい。 <p>【設問に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問数が多くなりすぎないようにしてほしい。 ・設問は、学校再編の取組の背景や未来志向が伝わるよう、言葉や文脈に注意してほしい。 ・児童生徒が「どんなことを学びたいか」という視点の設問があるとよい。 <p>【意見聴取に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校のこどもたちにも意見を聞く機会を設けてほしい。 ・対象が小学生（特に低学年）ということを十分に踏まえ、実施方法等を検討しなければならない。 ・こどもたちに「自分たちの意見が反映される」という意識を持たせるようなやり方を望む。 ・市として、「どのような教育をしてこどもたちの将来の夢の実現につなげるのか」「そのために学校をどのように築いていくのか」をこどもたちに説明し、それに対する声を聞いてみたい。 |

- ・第2回、第3回のグループ協議が効果的に行われ、非常によかった。
- ・グループ協議において、事務局から新たな視点を投げかけてもらえると、より幅広く検討できるのでは。
- ・グループ協議において、まとめの時間が短いと感じた。まとめた内容をグループのメンバーに説明し、認識を統一する時間も考慮してほしい。
- ・グループ協議のリーダーには、事前にテーマや協議のポイントを説明することで、よりよい協議につながるのではないか。
- ・ブロック分けを検討する際の「優先事項」を事前に全体で確認したい。
- ・人材育成の観点からすると、「英語」と「情報技術（ICT、DX、AI等）」について重点化した教育が大切であり、その点において付加価値が与えられるような教育方針が必要だと思う。
- ・インクルーシブ教育・不登校に対応できる体制づくりを全体で共有したい。体験活動や保護者参加型の教育活動も行ってほしい。
- ・通学でバスなどの利用を想定した場合、学校の正門拡張や駐車場の確保なども必要となるだろう。
- ・加須市の特色（緑が多い、大きい病院がある、子育てがしやすい等）を生かした学校再編を目指していきたい。
- ・学校再編は、地域と密接に結びついているので、子どもたちはもちろん、地域の方たちからもさまざまな意見をすくいあげ、丁寧な合意形成を進めていくことが求められると思う。

令和8年2月13日
正副議長説明資料
生涯学習部教育総務課
魅力ある学校づくり推進室

「魅力ある学校づくり基本計画」策定スケジュールについて

1 策定スケジュールの変更

今後の合意形成に向けた取組を円滑に進めるために、新たな取組を組み入れたスケジュールに変更します。

なお、策定期間は、当初お示ししたとおり令和8年度中を目途としています。

【変更前】

| 区分 | R7年度 | | R8年度 | | | |
|------|------------|------|-------------------|------|------------|------|
| | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 |
| 基本計画 | → 計画素案作成 | | → 保護者や地域住民との意見交換会 | | → 計画案作成 策定 | |
| 審議会 | → 条例 諮問 施行 | | → 審議 答申 | | | |

【変更後】

| 区分 | R7年度 | | R8年度 | | | |
|------|------------|------|-------------------------|------|----------------------------|------|
| | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 |
| 基本計画 | → 計画素案作成 | | → 事前の意見募集 計画素案作成 | | → 保護者や地域住民との意見交換会 計画案作成 策定 | |
| 審議会 | → 条例 諮問 施行 | | → グループワークの手法を取り入れた審議 答申 | | | |

2 新たに組み入れた主な取組

①グループワークの手法を取り入れた審議

「加須市魅力ある学校づくり審議会」の審議の進め方において、グループワークの手法を取り入れたこともあり、会を重ねるにつれて審議が活発になっています。

引き続き活発な審議を生かすために、審議の時間を十分に確保する必要があることから、当初令和8年3月までにまとめるとしていた基本計画素案については継続審議となりました。

②事前の意見募集

審議会での審議と同時並行で、こどもたちやその保護者、学校運営協議会委員などを対象とした事前の意見募集を新たに実施します。

基本計画の核心部分に触れる前の骨子の段階でご意見をいただき、次のステップである基本計画素案の取りまとめ作業に生かしていきます。

二十歳の集い参加者アンケート調査結果

(1) 調査概要

① 期間・方法

期間：令和8年1月11日から令和8年1月13日（火）まで

方法：二十歳の集い（1/11）参加者 697 人を対象に、オンラインによる調査を実施

② 設問事項

選択形式4問（理想的な学校規模）、自由記述形式1問

③ アンケート回答数（回答率）

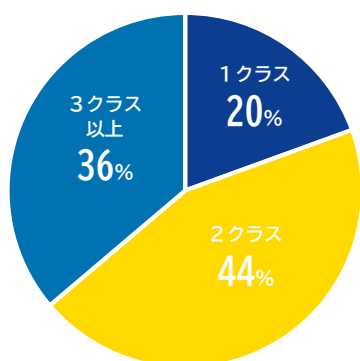
221 人（約 32%）

(2) 主な結果概要

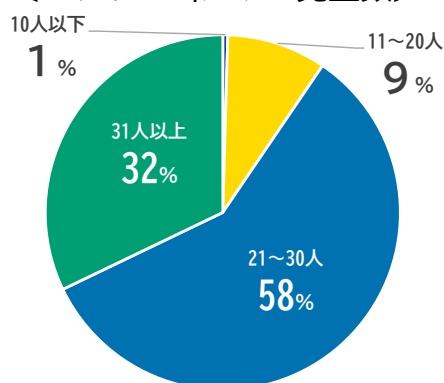
① 理想的な小中学校の規模について（選択形式）

【小学校】

〔1 学年当たりのクラス数〕

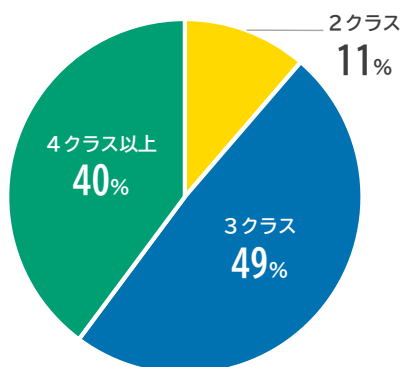


〔1 クラス当たりの児童数〕

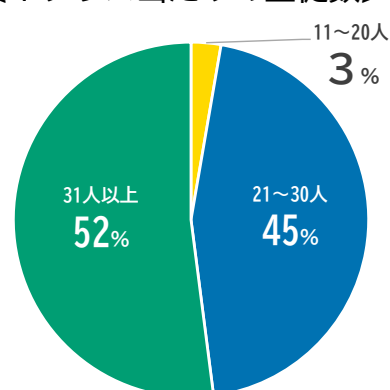


【中学校】

〔1 学年当たりのクラス数〕



〔1 クラス当たりの生徒数〕



② 「あなたが思う魅力ある学校」について（自由記述形式）

【主な回答】

- ・ 自然と触れ合う機会が多い学校
- ・ 生徒が自発的に考えることができる環境が整った学校
- ・ 生徒数が多く、元気な学校
- ・ 生徒同士で関係を育むとともに、切磋琢磨することができる学校
- ・ 少人数で授業を受けられる環境（そのためにも今の学校を残すべき）

市立小中学校の校長・教員アンケート調査結果

1. 「魅力ある学校像」のイメージの具体化に関するアンケート調査

(1) 調査概要

① 期間・方法

期間：令和8年1月7日（水）から令和8年1月23日（金）まで

方法：専用フォームから回答（オンライン回答）

② 設問内容

4つの「魅力ある学校像」それぞれについて、連想する具体的な場面やイメージを尋ねた。

③ 回答数（回答率）

321人（約53%）

(2) 結果概要

資料6（「魅力ある学校像」のイメージの具体化）を参照

2. こどもたちにとってよりよい教育環境となる学級規模・学校規模に関するアンケート調査

(1) 調査概要

① 期間・方法

期間：令和8年2月3日（火）から令和8年2月16日（月）まで

方法：専用フォームから回答（オンライン回答）

② 設問内容

1学級当たりの望ましい人数や1学年当たりの望ましい学級数とその理由を尋ねた。

③ 回答数（回答率）

329人（約54%）

(2) 結果概要

資料7-2（こどもたちにとってよりよい教育環境となる学級規模・学校規模）を参照

学校への基本方針出張説明 実施結果

【概要】

学校運営協議会の会議や授業参観が行われる機会を利用し、学校からの求めに応じ出張説明を実施

実施回数／21回 参加者総数／288人 質問者／61人 質問数／104件

| 実施概要 | | | | | 質問事項 |
|------|---------|-------------|------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No | 出張先 | 実施日 | 参加者数 | 参加者詳細 | |
| 1 | 大越小学校 | R7 9/26 | 23人 | 学校運営協議会委員、PTA役員、保護者、自治協力団体代表者、校長、教職員 | <p>1 こどもたちの意見を中心に計画づくりを進めてほしい。</p> <p>2 意見募集の実施結果では、学校再編を進めてほしいという意見が多く出ている。例えば、一部地域をモデル地域として設定し、先行して統廃合を行うということも検討してほしい。</p> <p>3 未就学児の保護者にも意見を聞くべき。</p> |
| 2 | 北川辺東小学校 | R7 10/22 | 9人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | <p>4 小規模な学校を統廃合していくという考えなのか。</p> <p>5 小規模校だからできることや小規模校ならではのものもあるのではないかと。</p> <p>6 20年先を見据えるとあるが、将来推計はどのように行うのか。</p> <p>7 市としての20年先のまちづくりの方向性にもよるので、計画にはある程度柔軟性を持たせるべきだ。</p> <p>8 市民との意見交換会では、市としてある程度の方向性や考え方、近隣市の取組の成功・失敗例などを示さないと、なかなかまとまらないのではないかと。</p> <p>9 基本計画で再編の対象となる学校や時期が示されるとのことだが、基本計画で再編される学校が決定するということか。</p> |
| 3 | 豊野小学校 | R7 10/30 | 9人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | <p>10 社会性を育む観点から学校再編はやむを得ないだろう。これまで寄せられた意見の中で、特徴的なものがあれば教えてほしい。</p> <p>11 学校再編に対する意見が265人から寄せられたとのことだが、一体、何人中の意見なのか。それで参考になるのか。</p> <p>12 各学校が特色を生かした独自の魅力を打ち出すのか。又は、市で定めた魅力ある学校づくりに従って学校運営していくのか。</p> <p>13 20年先を見据えるとのことだが、20年先の児童生徒数の推計はしないのか。</p> <p>14 財政面等を理由に計画がブレることのないようにしてほしい。</p> <p>15 合意形成に係る規程のようなものがあつたほうがいだろう。</p> <p>16 再編により通学が遠距離となる場合の通学支援策の考えは。</p> <p>17 立場で意見が分かれる中、どのように合意形成を図るのか。</p> <p>18 学校再編に取り組んでいる近隣市の状況について教えてほしい。</p> <p>19 こどもたちのため、再編の予算をしっかりと確保し進めるべき。</p> |
| 4 | 加須南小学校 | R7 11/7 | 8人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | <p>20 基本方針の副タイトルを“かぞの未来を担う”とした方がいいのではないかと。</p> <p>21 地域の捉え方を整理すべき。地域を学区と捉えがちだが、こどもの生活圏として捉えるべきだろう。</p> <p>22 加須は文教都市である。その魅力をもっと掘り下げるべきだ。</p> <p>23 よりよい教育環境について、もっと掘り下げるべきだ。</p> <p>24 魅力ある学校づくりを進めるためには、中学校の規模がどうあるべきかを考えるべきで、発想が逆ではないかと。</p> <p>25 魅力ある学校づくりには小学校12学級以上、中学校9学級以上がなぜ必要なのかの説明を重点的に行つた方がいだろう。</p> <p>26 学力の低下にもつながり兼ねないので、南小の児童数の減少を危惧している。</p> <p>27 学校再編に関し、学校運営協議会委員としての役割等あるのか。</p> <p>28 通学環境の整備にしても多額の費用がかかる。市として学校再編に係る予算確保の見通しはあるのか。</p> <p>29 令和7年度と令和13年度を比較し、学級数が減少している学校を再編するということか。</p> |

| 実施概要 | | | | | 質問事項 |
|------|---------|-------------|------|------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| No | 出張先 | 実施日 | 参加者数 | 参加者詳細 | |
| 5 | 北川辺西小学校 | R7 11/11 | 8人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 30 地域から「数年後には学校の統廃合がある」との噂も聞こえてくるが、実際のところはどうか。 |
| | | | | | 31 廃校となる学校の利活用についての考え方を教えてほしい。 |
| | | | | | 32 学校の再編を進めるに当たり、保護者や地域住民との合意形成を図っていくとあるが、現場で子どもたちに接している教職員の声も大事にしてほしい。 |
| | | | | | 33 取組を進める上で反対意見も出てくると思われるが、事務局としては、最終的に誰の意見に重きを置くのか。 |
| | | | | | 34 近隣の自治体における学校再編の取組は参考にしているのか。 |
| 6 | 種足小学校 | R7 11/18 | 7人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 35 計画が順調に進んだ場合、統廃合の開始はいつになるのか。 |
| | | | | | 36 小規模の学校同士を統廃合するという考えなのか。 |
| | | | | | 37 学校再編の取組が他市と比較し後発となった理由とは。 |
| | | | | | 38 先発自治体の取組を参考に後発の強みを生かして進めてほしい。 |
| | | | | | 39 地域の声もいろいろあるかと思うが、未来の子どもたちのためということを基本に進めてほしい。 |
| | | | | | 40 今後予定されている意見交換会はこういった形で行われるのか。 |
| 7 | 原道小学校① | R7 11/20 | 14人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 41 意見交換会を経て再編の対象校等を示す計画が令和8年度中にまとまるという認識で良いか。 |
| | | | | | 42 20年先を見据えることも大事であるし、スピード感をもって進めていくことも大事だと思う。 |
| | | | | | 43 地域住民の理解が得られなかった他市の事例を教えてください。 |
| | | | | | 44 市が考えるスケジュールで間に合うものなのか。もっと早く計画を展開した方がよいのではないか。 |
| | | | | | 45 地域住民は学校再編に全面的に協力する立場にあり、基本とすべきは子どもたちのためということだと思う。 |
| 8 | 原道小学校② | R7 11/27 | 23人 | 保護者、校長、教職員 | 46 再編によるスクールバスなどの対応において保護者負担を求めるべきではないと思うが、その点も含めた市の考えは。 |
| | | | | | 47 基本方針(案)に対する意見募集ではどのような意見があったのか。また、意見募集の結果を見る方法はあるか。 |
| 9 | 北川辺中学校 | R7 11/27 | 10人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 48 学校再編の計画において、中学校も視野に入れているということで良いか。 |
| | | | | | 49 令和8年4月から9月にかけて実施予定の意見交換会では、再編の対象となる学校などの案が示されるということで良いか。 |
| 10 | 鴻葦小学校 | R7 12/8 | 61人 | 保護者、校長、教職員 | 50 10年後、20年後には状況が変化することも考えられる。状況変化への対応はどのぐらいのスパンを想定しているのか。 |
| | | | | | 51 学校配置の方針に「行政区やこれまでの通学区域に捉われない」とあるが、鴻葦地区内で通学区域が分かれる可能性もあるのか。 |
| | | | | | 52 複式学級とはどんな学級か、先生は何人配置されるのか。 |
| 11 | 加須小学校 | R8 1/30 | 9人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 53 学校の再編が実際に行われるのは、最短でいつ頃になるのか。 |
| | | | | | 54 複式学級を回避するとのことだが、現在の小・中学校の1学級当たりの人数の基準や、複式学級の編制について説明してほしい。 |
| | | | | | 55 今後、特別支援学級に通う子どもたちが急増することが見込まれるので、それも考慮しなければならない。 |
| 12 | 不動岡小学校 | R8 2/4 | 9人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 56 本日の説明からは、子どもたちより地域の人たちを優先しているように感じる。子どもたちのための取組ということを前面に出すべき。 |
| | | | | | 57 参考として、30年前、原発のまちを視察した。整備された一つの学校に集約され、そこで町の子どもたちが学んでいた。 |
| | | | | | 58 学校再編により削減した予算は、教育分野に充ててほしい。 |
| | | | | | 59 基本方針には「学力」に関する視点が抜けている。中学生の学力低下の現状を課題と捉えるならば、数値目標も必要ではないか。 |
| | | | | | 60 小規模特認校や小中一貫校など、目指す学校形態がどのようなものなのか不安を感じつつもおもしろさも感じた。 |
| 62 | | | | | 61 不動岡が下火になっていくのは寂しい。不動岡高校を拠点とした活用の考え方や、地域の歴史という視点も踏まえて再編を検討するのもおもしろいのではないか。 |
| | | | | | 62 魅力ある学校づくりの「魅力」とは何か。また、「地域密着型教育」とはどういったものか具体的に教えてください。 |

| 実施概要 | | | | | 質問事項 |
|-------------------------------------------|-------------|------------|------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| No | 出張先 | 実施日 | 参加者数 | 参加者詳細 | |
| 13 | 花崎北小学校 | R8 2/6 | 10人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 63 児童生徒数の見込みを令和13年度まで示しているということは、それまでは再編によって廃校となる学校はないということか。 |
| | | | | | 64 基本計画の策定に当たっては、全庁的な体制のもと、市の都市計画等を踏まえ、学校配置等の検討が必要ではないか。 |
| 14 | 元和小学校 | R8 2/6 | 7人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 65 「保・幼・小中一貫教育」を継承するとあるが、幼稚園と小学校が隣接している地域は限定的である。具体的にどのように継承していくのか。 |
| 15 | 志多見小学校 | R8 2/10 | 9人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 66 4月に市長選挙を控えているが、この計画への影響はあるか。 |
| | | | | | 67 行政のトップである市長が先頭に立って学校再編の取組を進めてほしい。 |
| | | | | | 68 まちづくりに関連して、スーパーシティ構想は、今後どうなっていくのか。 |
| | | | | | 69 学校再編の検討に当たっては、まずは市としてまちづくりの方向性を考えた上で進めることが重要ではないか。 |
| | | | | | 70 近隣自治体において再編した学校に通う児童生徒や保護者から意見を聴き、参考にするというのはどうか。 |
| | | | | | 71 小中一貫校を紹介する番組を見た。小学生と中学生が交流している様子が印象的で個人的にはよい取組だと感じた。 |
| | | | | | 72 志多見幼稚園の休園に関する説明会の際、既に計画案があり決定事項という印象を受けた。そういう経験があると、学校再編も既に市の中で計画案があると思われてしまうのかもしれない。 |
| 16 | 三俣小学校 | R8 2/12 | 11人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 73 以前、学校関係の話し合いの場で、小規模校から進学したこどもが、規模の違いに戸惑い、不登校になってしまったという話を聞いた。 |
| | | | | | 74 学校がなくなると地域との関係性が薄れるという意見もあるが、こどものことを考えると、ある程度の学校規模は必要だろう。 |
| | | | | | 75 住民の中には、1地区に1校という考えが染みついている人もあるので、学校再編を具現化するとなると大変な取組だと思う。 |
| | | | | | 76 1地区に1校という古い考えは、変えていなければならない。 |
| | | | | | 77 近隣の自治体と比べると遅いくらいである。痛みは伴うが、トップが決断しないと学校再編は進まない。 |
| 17 | 樋遣川小学校 | R8 2/13 | 24人 | 教育推進会議委員、学校運営協議会委員、校長、教職員 | 78 小規模校に通うこどもが統合先の学校になじめないことも考えられるため、こどもへの心理的なケアをお願いしたい。 |
| | | | | | 79 樋遣川小や大越小の現状は、待ったなしである。学校再編の取組があまりにも遅いのではないか。 |
| | | | | | 80 羽生市で昨年開校した羽生東小学校について、これまでの経過を教えてください。 |
| | | | | | 81 計画の具体化までの間、樋遣川小や大越小など小規模校だけでも先行して取組を進めることはできないか。 |
| | | | | | 82 計画が必要なことは理解しているが、その間に学校からこどもがいなくなってしまう。保護者としては早く進めてほしい。 |
| | | | | | 83 学校再編は賛否が分かれるものであり、合意形成は簡単ではない。だからこそ、児童生徒、教職員の考えを基本に基本計画をまとめていくことが必要だろう。 |
| | | | | | 84 学校の小規模化が進む樋遣川・大越・原道・豊野の各地域では、保護者会や地域の間で「今後、これらの学校と統合していくことになるだろう」という認識が共有されつつある。 |
| | | | | | 85 基本計画では、再編の対象となる学校とその時期を示すとのことだが、各学校の児童生徒数の状況を踏まえ、優先度の高いところからスピード感を持って進めてほしい。 |
| | | | | | 86 「魅力ある学校」という表現は、今の学校には魅力がないという意味に受け取られかねない。 |
| | | | | | 87 具体的な学校名が挙がっている話を聞くが、再編のプロセスがまだ示されていないため、当該校の児童や保護者は不安になるのではないか。 |
| 18 | 田ヶ谷小学校 ① | R8 2/19 | 8人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 88 川口市では令和8年4月から学びの多様化学校の開校が予定されている。ぜひ参考としてほしい。 |
| | | | | | 89 学校規模の方針では、「望ましい学級数の目安」を小学校12学級以上、中学校9学級以上としているが、この規模に満たない学校を再編の対象とするのか。 |
| | | | | | 90 早期に再編を行う学校の具体的な取組は、いつ頃から始まるのか教えてください。 |
| | | | | | 91 令和8年度に予定されている「意見交換会」の対象や開催単位など、実施方法について教えてください。 |
| 92 「意見交換会」の実施について、保護者や地域住民への周知はどのように行うのか。 | | | | | |

| 実施概要 | | | | | 質問事項 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------|------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| No | 出張先 | 実施日 | 参加者数 | 参加者詳細 | |
| 19 | 田ヶ谷 小学校 ② | R8 2/20 | 10人 | 保護者、校長、教職員 | 93 学校再編における計画の具体化への取組は、いつ頃から始まるのか教えてほしい。 |
| | | | | | 94 学校再編を進めるに当たり、既存の学校施設を活用していくという考えなのか。 |
| 20 | 礼羽 小学校 | R8 3/4 | 10人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 95 通学方法について、通学区域の中で徒歩と自転車の範囲というのは決まっているのか。 |
| | | | | | 96 羽生市や行田市では、統廃合が行われた学校でスクールバスが運行されている。加須市でもスクールバスの導入について検討するのか。 |
| | | | | | 97 意見交換会はいつ頃を予定しているのか。 |
| 21 | 騎西 小学校 | R8 3/4 | 9人 | 学校運営協議会委員、校長、教職員 | 98 市内どの地域からも入学できる学校について詳しく教えてほしい。 |
| | | | | | 99 学校間や学級内における学力格差の拡大を懸念している。格差是正に向けて、どのように対応していくのか。 |
| | | | | | 100 こどもが減っている現状からすれば、学校の再編は仕方がない。 |
| | | | | | 101 ほかの自治体の先行事例も参考に進めてほしい。 |
| | | | | | 102 新聞で小学生の作文が掲載されおり、こどもの視点から書かれた素直な文章に感動したので紹介したい。地域全体で、このような素直なこどもを育み、見守りたいと思った。 |
| | | | | | 103 国が示す通学距離に「小学校おおむね4km以内」とあるが、低学年にとっては大変な距離である。先行事例も参考にして、スクールバスの導入について検討してほしい。 |
| 104 ソフト面を重視した学校づくりを進めなければ、何よりも大切な「こどもたちが通いたいと思える学校」という視点が、置き去りにされてしまう。魅力ある学校づくりの取組を通じ、「こどもたちが毎日楽しく通う学校」の実現を目指してほしい。 | | | | | |

※高柳小学校において令和8年2月13日開催の第3回学校運営協議会に合わせ実施を予定していた基本方針出張説明は、他の業務と重なり対応困難のため実施を断念

本市が目指す「魅力ある学校像」のイメージの具体化

<魅力ある学校像>

<1>
 こどもたちが学ぶ楽しさや喜びを実感し、学びを通して豊かな社会性を育む学校

- <審議会グループ協議及び校長・教員アンケートで出た意見>
- 基礎・基本がきちんと定着して学習に取り組んでいる
 - テストでいい点を取る
 - 「できる」を伸ばし、「難しい」を丁寧に
 - 最新のハードの整備や教育ツールの導入
 - 「わかった」「できた」をたくさん感じられる授業
 - 学んだ内容が日々の生活に結びつくことのできる環境
- 学ぶ楽しさ、喜び
 - こどもの興味や理解を高めるための工夫
 - こどもらしさを十分発揮できる学校
 - 大人や先生の顔色を見ながら成長する、というのは寂しい
 - 個別最適な学び
 - 自分で課題を見つけ、解決のための思考ツールがたくさんある環境
 - 興味・関心のある内容を自ら学ぶことができる環境
- 生活に根差した知識や、実践的な学びがある授業
 - 児童生徒数が十分に（2学級以上）ある学校
 - 多様な考えや意見に触れることができる環境
 - こども同士が相手を思いやり、立場を考慮することができる
 - 競争・運動・学びにおいて、苦手な人には得意な人が一緒になってチャレンジする
 - こどもたちが様々な行事や部活動に参加し楽しめる
 - 同じ学年が少人数だと社会性が育たない
 - 協調性・集団活動の修得
 - こどもたち同士が競争し、成長していく環境
 - 体験的な学習（観察や実験など）で「もっと知りたい！」が生まれる
 - 間違いやつまづきを互いに受け止め、支え合いながら学びを深める
 - ICTを活用した、いつでも・どこでも・だれとでも学べる環境
- 周辺の学校との合同授業や、全国・海外の学校とオンラインで交流
 - 自分の地域を客観視できる機会
 - 自分がやりたいことを、学校と地域が応援してくれる環境
 - 市内の学校が集まる機会（陸上競技会など）の継続

- <キーワード>
- 確かな学力の定着
 - 主体的な学び
 - 協動的な学び（グループ学習、体験・校外学習）
 - 学年・学校を超えた交流

<魅力ある学校像>

<2>
 教職員がともに高め合い、こどもたちの日々の成長を喜び合う学校

- <審議会グループ協議及び校長・教員アンケートで出た意見>
- 日々の生成＝こどもと教職員の人間関係
 - こどもの成長を見守れる教職員集団
 - 感動の共有
 - 市内の学校対抗コンクール（合唱大会、スポーツなど）で競い合う
 - 課題に対して、教員とこどもがともに考え、学び、成長できる学校
 - 指導でなく伴奏できる風土
- 若手が中堅・ベテラン職員とともに働ける環境
 - 様々な人柄や特性を持った教職員が存在する職場
 - 年齢に偏りがなくどの年代もいる職場
 - 複数担任制や教科担任制
 - 特色や理念が明確な「コンセプト型の学校経営」を推進
 - 目指す学校像や理念を教職員間で共有し、実践している
 - 教育に情熱を持つ教職員がいる
- 充実した研修の実施
 - 教職員同士が互いに高められる職場
 - 授業を見学することが簡単にできる環境
 - 校長がリーダーシップを持ち、教職員が互いをリスペクトし合う職場
 - こどもたちの成長のため、言いたいことを言える風通しのよい職場
 - 他の教職員や管理職に相談しやすい環境と関係性の構築
- 外部講師による授業の実施
 - 地域の活性化につながる教育課程の連携
 - 教職員と外部機関が協力して取り組むプロジェクト
- 教職員の充実（現状はカツカツで、これ以上負担を増やすことが難しいのでは）
 - 働き方改革の一層の推進
 - 様々な働き方を認め合える職場
 - 教職員が余裕をもって、教材研究や児童生徒と向き合える時間を確保できる環境、人材の確保

- <キーワード>
- 喜びや感動の共有
 - 指導体制の充実
 - 教職員同士の学び合い・支え合い
 - 多様な人材との連携
 - ゆとりある職場・多様な働き方

<魅力ある学校像>

<3>
 保護者や地域の人たちが信頼を寄せ、地域から愛される、地域とともに歩む学校

- <審議会グループ協議及び校長・教員アンケートで出た意見>
- 地域の人から学ぶ機会
 - 地域の人から昔あそびを教わったり、町探検に同行してもらう
 - 食農教育等を地域が協力する体制づくり
 - 地域密着の教育、その地域ならではの教育
 - こどもが校外で活躍できる場の確保
 - 地域イベントへの参加により、防災・介護・救急といった場面において役割を持つ
 - 人材バンクの整備・活用
 - 部活動の地域移行
 - 学校が核となり、地域をつなぐ活動を行う
- 地域の人が見守る学校
 - 地域の人とこどもたちとの間に「顔の見える関係」が築かれている
 - 通学時のあいさつ、見守り活動の方と顔を合わせて仲良くなる
 - 登下校の見守り・消防団・こども110番の家・学校ボランティア等とこどもたちがつながりをもつことのできる環境
- こどもたちと地域の方のふれあいが必要
 - 相互交流（地域行事・学校行事へそれぞれが参加）
 - 地域の方と交流を増やし、学校を知ってもらう
 - こどもたちと地域の方が交流を深め、地域から愛される学校
 - 地域の施設（介護・保育・文化）との交流
 - 学校と地域がお互いを理解を寄せる、相互な関係
 - 家庭や地域において、日々のやり取りからこどもの成長を感じられる
- 学校が災害時などの避難先となる
 - 地域の交流の場としての役割を持つ
 - 学校に地域の方が集まることで、交流のきっかけになる
 - 学校が「地域のコミュニティセンター」になり、放課後や休日に地域の方が気軽に学校に立ち寄る
 - 特別な行事がなくても学校へ来られる「学校公開の日」を設ける
- 学校通信や学年通信など、情報発信の充実
 - HPなどで学校の様子を積極的に公開し、身近に感じてもらう
 - 学校運営協議会をはじめとする意見交換の場が定期的に設けられ、お互いの運営に際して意見を言いやすい
 - 実際の教育活動とつながる形で意見交換ができる仕組み

- <キーワード>
- 地域との連携・協働
 - 地域の見守り
 - 学校・地域の相互交流
 - 学校施設の開放
 - 地域への情報発信・意見交換

<魅力ある学校像>

<4>
 安全・安心で、笑顔あふれる学校

- <審議会グループ協議及び校長・教員アンケートで出た意見>
- 相手を理解し、助け合うこと
 - 笑顔で元気なあいさつができる
 - いじめや乱暴な言動で悲しい思いをすることもがない学校
 - 多様な意見が受け入れられ、学習の規律や安全が守られた環境
 - こども同士がお互いのよいところを認め合う
- 教育活動が安心して実施できる環境
 - 最新の教育設備が揃っている
 - 設備の修繕が行き届いた学校
 - 安全面での警備員の配置、防犯カメラ設置など設備の充実
 - 物理的にも心理的にも「バリア」がない環境
- 通学時の安全確保
 - 通学時に児童が一人にならないように
 - 地域の方の声を大切に
 - 通学路の危険箇所を地域の方が見守ってくれる
 - 通学が遠距離となるこどもへの対応（スクールバス等）
- 多様性を認め合える雰囲気
 - 外国籍の児童生徒への日本語指導、翻訳設備、通訳対応職員
 - ジェンダーレスとインクルーシブを実現する学校づくり
- すべての児童生徒が、自分の居場所があると感じられる教室づくり
 - 「心の安全」を守る居場所がある
 - 教室以外の場所でも、自分のペースで過ごせる空間がある
 - 不登校児童への対応として、小学校にも相談室があるといい

- <キーワード>
- 活気のある学校生活
 - 安全で快適な学校施設の充実
 - 安全・安心な通学環境
 - ダイバーシティの尊重・推進
 - 居場所がある学校

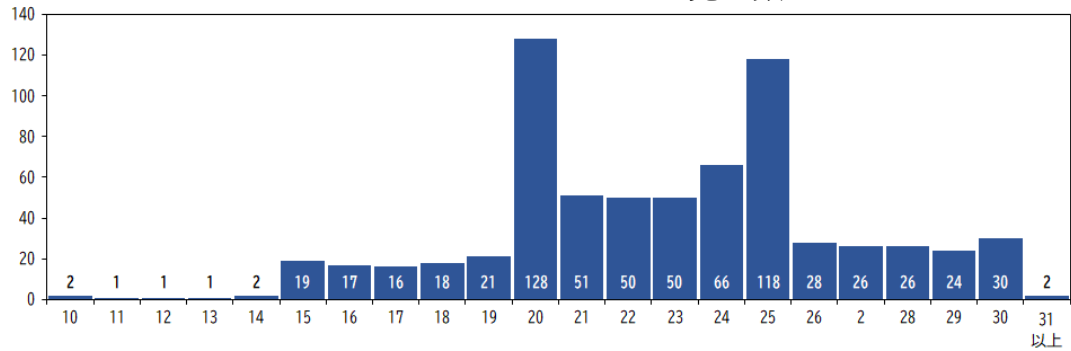
テーマ：子どもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模

| | | Aグループ | Bグループ | Cグループ | |
|-----|----------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小学校 | 望ましい学級規模 | 1クラスあたりの児童数 | 20～30人 | 20人前後 | 20～30人 |
| | | その理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団、友達との人間関係を築いていくためには、ある程度の人数が必要 ・きめ細やかな指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・人数が多すぎると、教員の目が行き届かない ・人数が少ないことで、一人一人教えられる ・運動会やコンクール等を行うのに、ちょうどよい ・共同し合える | <ul style="list-style-type: none"> ・先生の目が行き届く規模 ・グループワークは1グループあたり4, 5人が有効 |
| | 望ましい学校規模 | 1学年あたりのクラス数 | 2～3クラス | 2クラス以上 | 2クラス以上 |
| | | その理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・複数クラスあれば、何かあった場合にクラス替えによって逃げ道を作っておかれる | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えによって、いろんな人と同じクラスになれる | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えによる人間関係のリセット ・クラス間の競争 |
| 中学校 | 望ましい学級規模 | 1クラスあたりの児童数 | 30～35人 | 30人前後 | 20～30人 |
| | | その理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・人間形成、発達段階の視点から、手厚くして挙げるべき | <ul style="list-style-type: none"> ・チームを作る ・教員、生徒数の減少が、部活動の減少につながり、社会性の醸成への影響が懸念される | <ul style="list-style-type: none"> ・先生の目が行き届く規模 ・グループワークは1グループあたり4, 5人が有効 |
| | 望ましい学校規模 | 1学年あたりのクラス数 | 4～6クラス | 3クラス以上 | 2クラス以上 |
| | | その理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会性の醸成 ・競争や学習意欲を高めていく ・学校行事 ・多い人数の中で磨いていく | <ul style="list-style-type: none"> ・1学年100人程度をキープ ・高校へ適応することも ・競争心を高め、たくましく育てる ・部活動等の地域移行により、集団行動がメインとなっていく | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えによる人間関係のリセット ・クラス間の競争 ・競争意識という点では、3クラス以上が有効 |

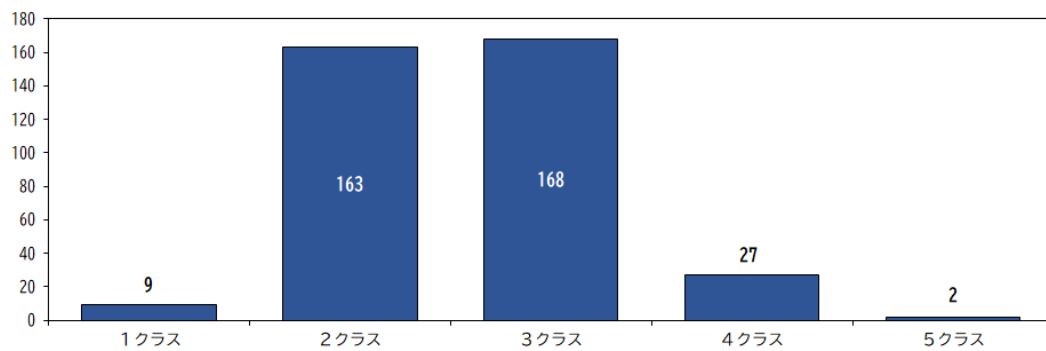
「こどもたちにとってよりよい教育環境となる学級規模・学校規模」に関する
校長・教員アンケート調査結果

【小学校】

1クラスあたりの望ましい児童数

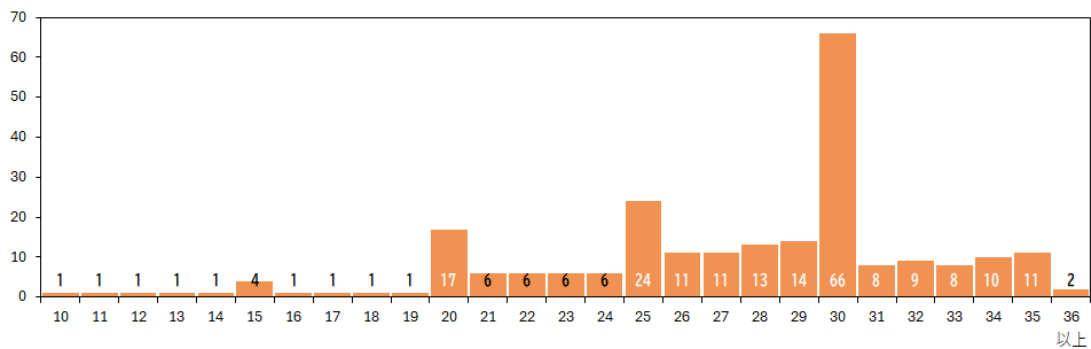


1学年あたりの望ましいクラス数

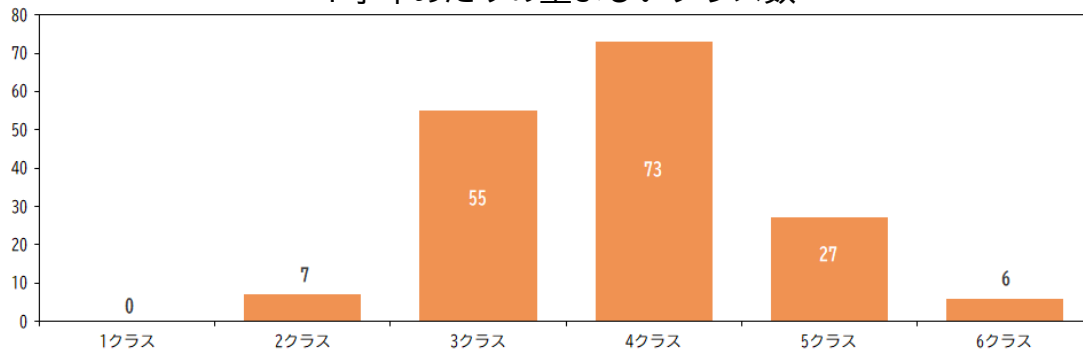


【中学校】

1クラスあたりの望ましい生徒数



1学年あたりの望ましいクラス数



市域のブロック分け(検討単位)について 【グループ協議】

1 審議会におけるこれまでと今後の審議

- ・現在、審議会での審議を中心に作成を進めている「基本計画(素案)」は、基本計画の核心部分となる再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など、学校再編の具体について整理するもの。
- ・これまでの審議、そして、新たな手法として取り入れた「審議と同時並行で行う意見募集等」は、学校再編の具体について検討するための取組であり、これらにより「本市が目指す学校像」を掘り下げ、具体的なイメージを形づくる作業を進めてきた。
- ・今後は、いよいよ基本計画の核心部分となる学校再編の具体について議論する段階となる。
- ・基本計画(素案)については、令和8年8月頃までにまとめたいと考えており、これに係るこれまでと今後の主な協議内容は以下のとおり。

| 区分 | 審議会 | 主な協議内容(現時点の予定) |
|------|------------|----------------------------------------------|
| これまで | 第2回(12/18) | 本市が目指す「魅力ある学校像」のイメージの具体化について |
| | 第3回(1/15) | 子どもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模について |
| 今回 | 第4回(3/18) | 市域のブロック分け(検討単位)について |
| 今後 | 第5回(4月下旬) | 目指す学校像の明確化、市域のブロック分け(検討単位)の整理、意見募集等の実施方法について |
| | 第6回(5月下旬) | 目指す学校像や児童生徒数の将来見込みを踏まえたブロック別優先順位の整理について |
| | 第7回(7月頃) | 再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など学校再編の具体案について |
| | 第8回(8月頃) | 再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など学校再編の具体案について |

2 市域のブロック分け(検討単位)のポイント

(1) ブロック(エリア)分けの目的とポイント

- ・持続可能な魅力ある学校づくりの指針となる基本方針では、学校配置の考え方として「全市的視野に立つ」と整理している。
- ・この考え方を踏まえ、「20年後も存続し続ける学校」という視点から、学校単位の点で捉えるのではなく、市域全体をブロック(エリア)に分けた面で捉え、まずは、学校再編に係る優先順位を検討するため、市域のブロック分けを行う。
- ・市域のブロック分けに当たっては、基本方針で示す「学校規模の方針」、「学校配置の方針」や、「本市が目指す学校像」、「児童生徒数の見込み」などをもとに、「地域特性」も意識し検討する。

(2) 基本方針で示す「学校規模の方針」「学校配置の方針」

- ・ 20年後も存続し続ける学校という視点で、ブロックごとに学校再編の具体について検討するに当たっては、基本方針で示す「学校規模の方針」「学校配置の方針」を念頭に進めることとする。それぞれの方針は以下のとおり。

■学校規模の方針

「望ましい学級数の目安」を目指しつつも、「少なくとも必要な学級数の目安」を重視し、今後20年を見据えた持続可能な学校規模を検討します。

| | |
|----------------|------------------------|
| 望ましい学級数の目安 | 小学校 12 学級以上 中学校 9 学級以上 |
| 少なくとも必要な学級数の目安 | 小学校 6 学級以上 中学校 3 学級以上 |

■学校配置の方針

「学校規模の方針」とともに、以下の3つの考え方にに基づき、今後20年を見据えた持続可能な学校配置を勘案し、統廃合等の学校再編に向けた方策を検討します。

- ・ 国が示す通学距離(小学校おおむね4 km以内、中学校おおむね6 km以内)、通学時間(小中学校ともにおおむね1時間以内)に関する考え方も参考とする。
- ・ 必ずしも行政区やこれまでの通学区域に捉われない全市的視野に立つとともに、学校施設の老朽化等への対応状況や地域特性などを勘案する。
- ・ 保護者や地域住民との十分な合意形成を基本に、対象となる市立小中学校のうち小規模化が顕著な小学校を最優先に順次進める。

3 本日のグループ協議の内容

協議内容：どのようなブロック(エリア)分けが考えられるか

- ・ 本市の教育の特色である「地域密着型教育」に代表されるよう、教育における地域と学校の連携は、魅力ある学校づくりに欠かせない要素であり、「魅力ある学校像」において「地域とともに歩む学校」を掲げている。
- ・ 「学校配置の方針」では、「必ずしも行政区やこれまでの通学区域に捉われない全市的視野に立つ」という考え方を示している。
- ・ 現状の通学区域は、多くの場合、自治会や町内会など「地域コミュニティを形成する範囲のまとまり」との結びつきが強い。
- ・ 本日のグループ協議は、ブロック(エリア)分けを検討する最初の段階であることから、学校と地域との関りを勘案し、まずはブロック(エリア)分けの最小単位を「小学校の通学区域」とする。
- ・ ブロック(エリア)分けのポイントを念頭に、配布資料にある本市が目指す学校像や児童生徒数の見込み、学校との距離なども参考に、市域全体をいくつかのブロックに分けるとしたら、どのようなブロック分けが考えられるか。そう考える理由も含め、グループで話し合っていたきたい。

【グループ協議】

【手順1】アイスブレイク（目安5分）

- ・グループ協議に入る前に、場の雰囲気や和ませる意味で、まずは年明けからこれまでの出来事や気になることなどを交えながら、自己紹介しましょう。

【手順2】自分の考えを整理（目安5分）

- ・ブロック(エリア)分けの最少単位を「小学校の通学区域」とし、市域全体をいくつかのブロックに分けるとしたら、どのようなブロック分けが考えられるか。ブロック(エリア)分けのポイントや配布資料を参考に自分の考えを整理しましょう。

メモ

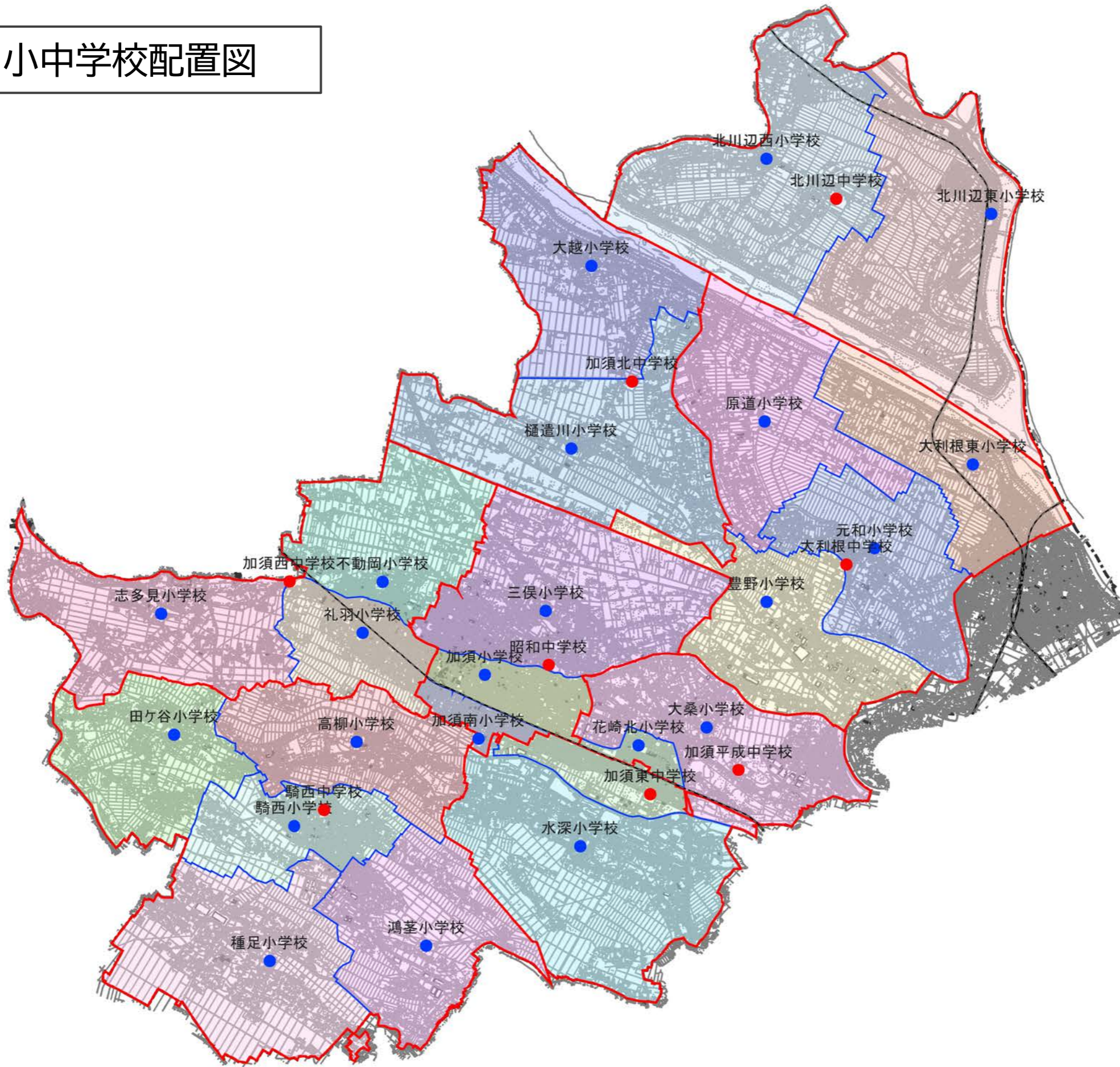
【手順3】グループ内でそれぞれの考えを発表・まとめ（目安20分）

- ・グループ内でそれぞれの考えを発表し、どのようなブロック分けが考えられるか。そう考える理由も含め、グループの意見としてまとめましょう。

メモ

【手順4】グループごとに発表（各3分）

図1 小中学校配置図



※ 通学区域のラインは、あくまでも参考であり、目安として示したものです。

縮尺 1 : 65000

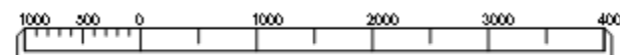
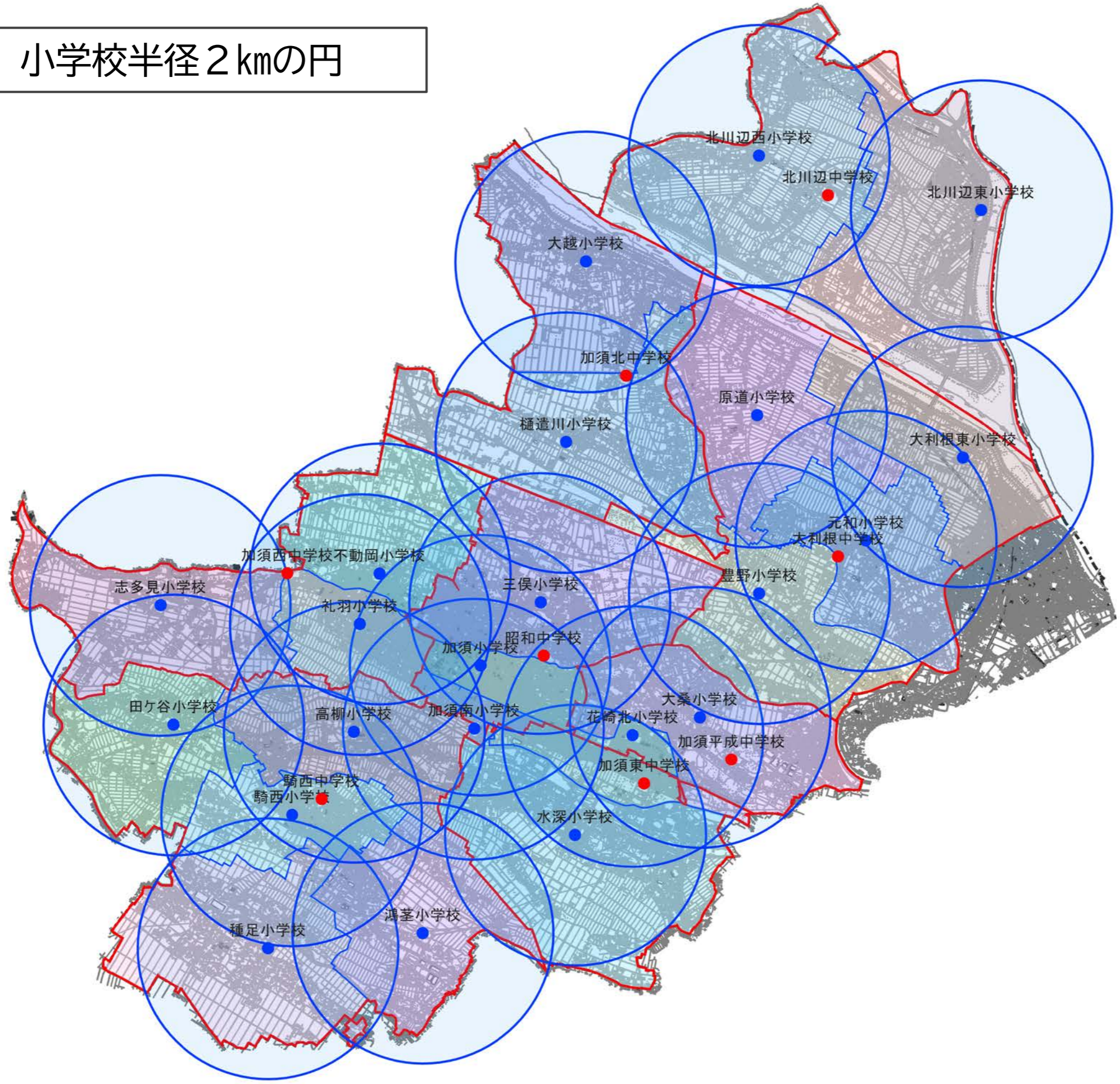




図2 小学校半径2kmの円



※ 通学区域のラインは、あくまでも参考であり、目安として示したものです。

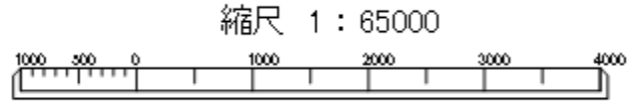
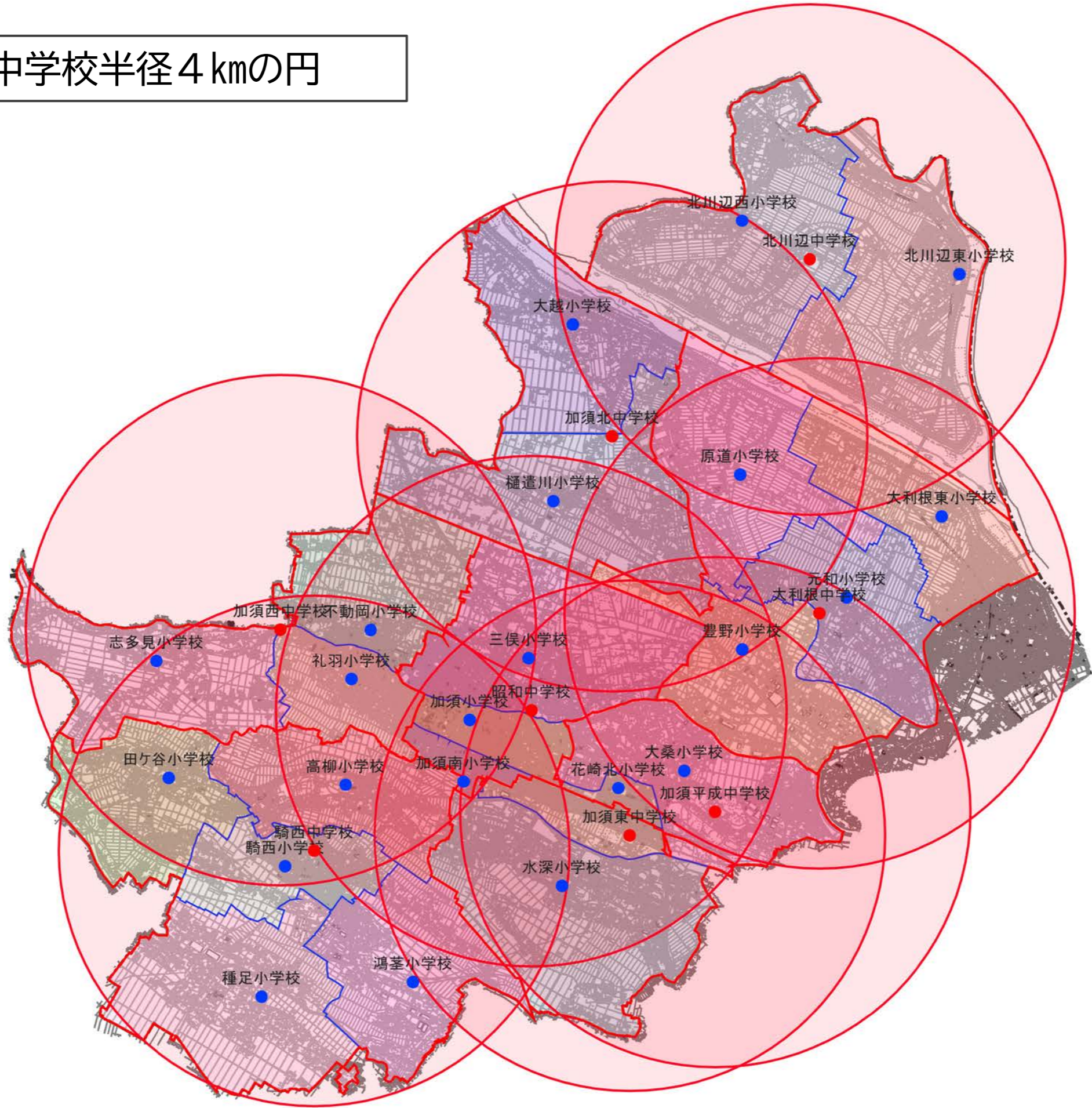




図3 中学校半径4 kmの円



※ 通学区域のラインは、あくまでも参考であり、目安として示したものです。

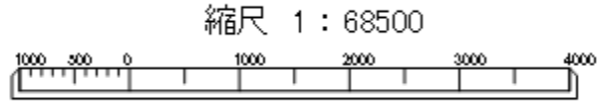
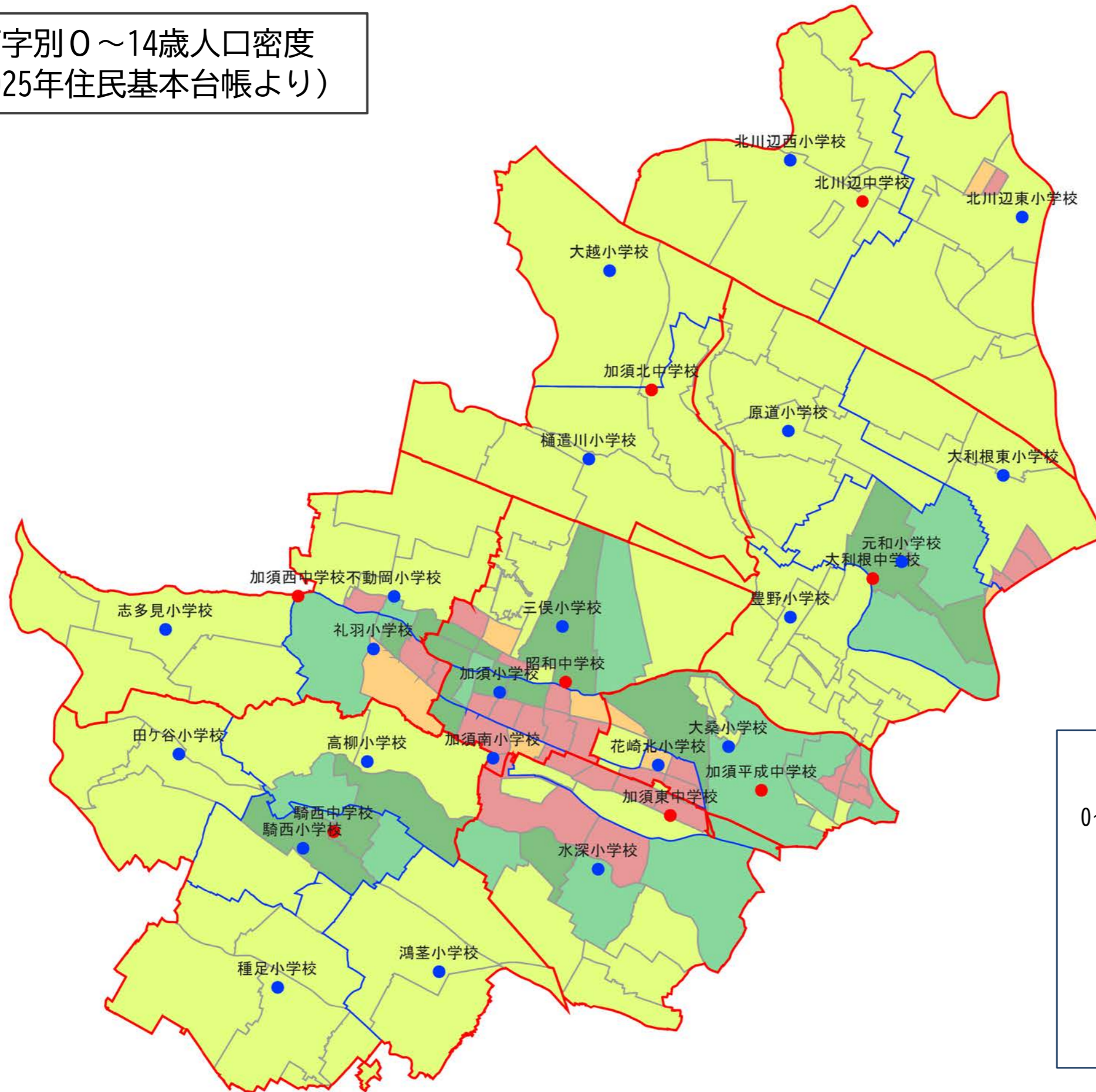




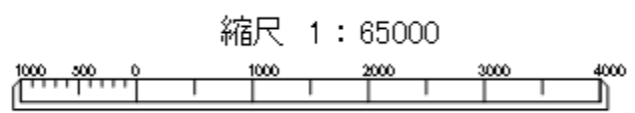
図4 町丁字別0～14歳人口密度
(2025年住民基本台帳より)



【凡例】
0～14歳人口密度 (人口/面積 (km²))

| |
|---------|
| ~100 |
| 101~200 |
| 201~300 |
| 301~400 |
| 401~ |

※ 通学区域のラインは、あくまでも参考であり、目安として示したものです。



令和7年度 児童生徒数及び学級数

令和7年5月1日現在

| [小学校] | | 児 童 数 | | | | | | | | R6 4.1 現在 | 増 減 | 学 級 数 | | | | | | | | R6 4.1 現在 | 増 減 |
|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-----------------|--------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----------------|--------|
| NO | 学校名 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 | (合計) | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特学 | 計 | | |
| 1 | 加須小 | 60 | 55 | 55 | 68 | 64 | 65 | 367 | 367 | 379 | △ 12 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 16 | 16 | 0 |
| 2 | 不動岡小 | 26 | 28 | 38 | 35 | 32 | 28 | 187 | 187 | 196 | △ 9 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 9 | 9 | 0 |
| 3 | 三俣小 | 71 | 72 | 98 | 90 | 93 | 86 | 510 | 510 | 526 | △ 16 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 20 | 21 | △ 1 |
| 4 | 礼羽小 | 47 | 52 | 46 | 52 | 48 | 45 | 290 | 290 | 267 | 23 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 15 | 14 | 1 |
| 5 | 大桑小 | 72 | 70 | 93 | 76 | 88 | 73 | 472 | 472 | 479 | △ 7 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 | 4 | 19 | 20 | △ 1 |
| 6 | 水深小 | 114 | 105 | 110 | 100 | 112 | 98 | 639 | 639 | 622 | 17 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 | 3 | 7 | 27 | 24 | 3 |
| 7 | 樋遣川小 | 13 | 8 | 22 | 11 | 15 | 16 | 85 | 85 | 88 | △ 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 8 | 0 |
| 8 | 志多見小 | 12 | 12 | 16 | 17 | 19 | 19 | 95 | 95 | 108 | △ 13 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 8 | 0 |
| 9 | 大越小 | 4 | 7 | 6 | 6 | 12 | 3 | 38 | 38 | 42 | △ 4 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 5 | 5 | 0 |
| 10 | 花崎北小 | 46 | 29 | 35 | 31 | 33 | 53 | 227 | 227 | 222 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 11 | 10 | 1 |
| 11 | 加須南小 | 18 | 24 | 23 | 30 | 32 | 25 | 152 | 152 | 178 | △ 26 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 10 | △ 2 |
| 12 | 騎西小 | 21 | 39 | 27 | 49 | 33 | 30 | 199 | 199 | 215 | △ 16 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 10 | 10 | 0 |
| 13 | 田ヶ谷小 | 12 | 25 | 20 | 27 | 18 | 27 | 129 | 129 | 135 | △ 6 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 9 | 9 | 0 |
| 14 | 種足小 | 11 | 21 | 23 | 12 | 26 | 25 | 118 | 118 | 132 | △ 14 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 8 | 0 |
| 15 | 鴻荃小 | 9 | 19 | 15 | 13 | 19 | 9 | 84 | 84 | 91 | △ 7 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 8 | 0 |
| 16 | 高柳小 | 40 | 42 | 37 | 41 | 29 | 39 | 228 | 228 | 210 | 18 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 13 | 12 | 1 |
| 17 | 北川辺西小 | 22 | 26 | 21 | 20 | 29 | 30 | 148 | 148 | 159 | △ 11 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 8 | 0 |
| 18 | 北川辺東小 | 15 | 25 | 23 | 30 | 25 | 27 | 145 | 145 | 165 | △ 20 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 8 | 0 |
| 19 | 大利根東小 | 31 | 36 | 35 | 39 | 39 | 33 | 213 | 213 | 205 | 8 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 4 | 11 | 9 | 2 |
| 20 | 原道小 | 12 | 12 | 18 | 15 | 17 | 17 | 91 | 91 | 102 | △ 11 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 8 | 0 |
| 21 | 豊野小 | 8 | 19 | 14 | 15 | 13 | 13 | 82 | 82 | 93 | △ 11 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 7 | 0 |
| 22 | 元和小 | 73 | 50 | 60 | 47 | 47 | 44 | 321 | 321 | 290 | 31 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 15 | 14 | 1 |
| 小学校計 | | 737 | 776 | 835 | 824 | 843 | 805 | 4,820 | 4,820 | 4,904 | △ 84 | 33 | 31 | 32 | 34 | 32 | 31 | 58 | 251 | 246 | 5 |

| [中学校] | | 生 徒 数 | | | | | | R6 4.1 現在 実数 | 増 減 | 学 級 数 | | | | | | R6 4.1 現在 実数 | 増 減 | | | |
|-----------------|-------|-------|-----|-----|--|--|-------|-----------------------|--------|-------|---------|----|----|--|--|-----------------------|--------|-----|-----|---|
| NO | 学校名 | 1年 | 2年 | 3年 | | | 計 | (合計) | | | 1年 | 2年 | 3年 | | | 特学 | 計 | | | |
| 1 | 昭和中 | 189 | 198 | 205 | | | 592 | 592 | 608 | △ 16 | 5 | 5 | 5 | | | 6 | 21 | 20 | 1 | |
| 2 | 加須西中 | 84 | 103 | 136 | | | 323 | 323 | 344 | △ 21 | 3 | 3 | 4 | | | 3 | 13 | 14 | △ 1 | |
| 3 | 加須東中 | 119 | 131 | 148 | | | 398 | 398 | 398 | 0 | 4 | 4 | 4 | | | 2 | 14 | 14 | 0 | |
| 4 | 加須北中 | 17 | 36 | 32 | | | 85 | 85 | 104 | △ 19 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 4 | 5 | △ 1 | |
| 5 | 加須平成中 | 92 | 111 | 106 | | | 309 | 309 | 329 | △ 20 | 3 | 3 | 3 | | | 3 | 12 | 12 | 0 | |
| 6 | 騎西中 | 128 | 143 | 144 | | | 415 | 415 | 437 | △ 22 | 3 | 4 | 4 | | | 7 | 18 | 17 | 1 | |
| 7 | 北川辺中 | 62 | 66 | 81 | | | 209 | 209 | 205 | 4 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 8 | 8 | 0 | |
| 8 | 大利根中 | 108 | 103 | 113 | | | 324 | 324 | 316 | 8 | 3 | 3 | 3 | | | 4 | 13 | 12 | 1 | |
| 中学校計 | | 799 | 891 | 965 | | | 2,655 | 2,655 | 2,741 | △ 86 | 24 | 25 | 26 | | | 28 | 103 | 102 | 1 | |
| [小・中学校計] 児童生徒数計 | | | | | | | 7,475 | | 7,645 | △ 170 | 学 級 数 計 | | | | | | 86 | 354 | 348 | 6 |

令和13年度 児童生徒数及び学級数（見込み）

令和7年5月1日現在

| [小学校] | | 児 童 数 | | | | | | | R6 4.1 | 増 減 | 学 級 数 | | | | | | | | R6 4.1 | 増 減 | |
|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|--------|--------|----|----|----|----|----|----|----|-----------|--------|------|
| NO | 学校名 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 | (合計) | 現在 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特学 | 計 | 現在 | |
| 1 | 加須小 | 41 | 38 | 46 | 44 | 40 | 53 | 262 | 262 | 379 | △ 117 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | - | 12 | 16 | △ 4 | |
| 2 | 不動岡小 | 17 | 17 | 13 | 22 | 19 | 16 | 104 | 104 | 196 | △ 92 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 9 | △ 3 | |
| 3 | 三俣小 | 49 | 60 | 65 | 75 | 59 | 74 | 382 | 382 | 526 | △ 144 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | - | 14 | 21 | △ 7 |
| 4 | 礼羽小 | 46 | 47 | 36 | 54 | 40 | 44 | 267 | 267 | 267 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | - | 12 | 14 | △ 2 | |
| 5 | 大桑小 | 64 | 55 | 66 | 63 | 69 | 65 | 382 | 382 | 479 | △ 97 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | - | 12 | 20 | △ 8 | |
| 6 | 水深小 | 76 | 87 | 96 | 121 | 108 | 96 | 584 | 584 | 622 | △ 38 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 3 | - | 20 | 24 | △ 4 |
| 7 | 樋遣川小 | 4 | 5 | 15 | 13 | 6 | 11 | 54 | 54 | 88 | △ 34 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 8 | △ 2 | |
| 8 | 志多見小 | 18 | 15 | 10 | 14 | 12 | 24 | 93 | 93 | 108 | △ 15 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 8 | △ 2 | |
| 9 | 大越小 | 2 | 3 | 2 | 3 | 4 | 7 | 21 | 21 | 42 | △ 21 | | 1 | | 1 | | - | 3 | 5 | △ 2 | |
| 10 | 花崎北小 | 46 | 33 | 36 | 40 | 42 | 44 | 241 | 241 | 222 | 19 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | - | 11 | 10 | 1 | |
| 11 | 加須南小 | 23 | 18 | 21 | 16 | 20 | 17 | 115 | 115 | 178 | △ 63 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 10 | △ 4 | |
| 12 | 騎西小 | 26 | 22 | 33 | 31 | 28 | 29 | 169 | 169 | 215 | △ 46 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 10 | △ 4 | |
| 13 | 田ヶ谷小 | 14 | 14 | 9 | 14 | 11 | 10 | 72 | 72 | 135 | △ 63 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 9 | △ 3 | |
| 14 | 種足小 | 13 | 11 | 5 | 17 | 9 | 16 | 71 | 71 | 132 | △ 61 | 1 | | 1 | 1 | 1 | - | 5 | 8 | △ 3 | |
| 15 | 鴻荃小 | 11 | 12 | 4 | 15 | 10 | 14 | 66 | 66 | 91 | △ 25 | 1 | | 1 | 1 | 1 | - | 5 | 8 | △ 3 | |
| 16 | 高柳小 | 22 | 17 | 32 | 27 | 40 | 34 | 172 | 172 | 210 | △ 38 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | - | 7 | 12 | △ 5 |
| 17 | 北川辺西小 | 8 | 23 | 10 | 12 | 19 | 18 | 90 | 90 | 159 | △ 69 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 8 | △ 2 | |
| 18 | 北川辺東小 | 13 | 16 | 11 | 24 | 18 | 19 | 101 | 101 | 165 | △ 64 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 8 | △ 2 | |
| 19 | 大利根東小 | 27 | 24 | 30 | 24 | 38 | 31 | 174 | 174 | 205 | △ 31 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | - | 7 | 9 | △ 2 |
| 20 | 原道小 | 3 | 6 | 5 | 3 | 10 | 10 | 37 | 37 | 102 | △ 65 | 1 | | 1 | | 1 | - | 4 | 8 | △ 4 | |
| 21 | 豊野小 | 13 | 16 | 10 | 5 | 12 | 15 | 71 | 71 | 93 | △ 22 | 1 | 1 | | 1 | 1 | - | 5 | 7 | △ 2 | |
| 22 | 元和小 | 42 | 51 | 56 | 69 | 69 | 70 | 357 | 357 | 290 | 67 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | - | 12 | 14 | △ 2 | |
| 小学校計 | | 578 | 590 | 611 | 706 | 683 | 717 | 3,885 | 3,885 | 4,904 | △ 1019 | 30 | 28 | 27 | 30 | 32 | 30 | - | 177 | 246 | △ 69 |

| [中学校] | | 生 徒 数 | | | | | R6 4.1 | 増 減 | 学 級 数 | | | | | R6 4.1 | 増 減 | | | | |
|-----------------|-------|-------|-----|-----|--|-------|-----------|----------|-------|--------|---------|----|--|-----------|--------|----------|------|-----|------|
| NO | 学校名 | 1年 | 2年 | 3年 | | 計 | (合計) | 現在 実数 | | 1年 | 2年 | 3年 | | 特学 | 計 | 現在 実数 | | | |
| 1 | 昭和中 | 149 | 151 | 176 | | 476 | 476 | 608 | △ 132 | 4 | 4 | 5 | | - | 13 | 20 | △ 7 | | |
| 2 | 加須西中 | 85 | 92 | 100 | | 277 | 277 | 344 | △ 67 | 3 | 3 | 3 | | - | 9 | 14 | △ 5 | | |
| 3 | 加須東中 | 142 | 123 | 131 | | 396 | 396 | 398 | △ 2 | 4 | 4 | 4 | | - | 12 | 14 | △ 2 | | |
| 4 | 加須北中 | 17 | 15 | 28 | | 60 | 60 | 104 | △ 44 | 1 | 1 | 1 | | - | 3 | 5 | △ 2 | | |
| 5 | 加須平成中 | 90 | 81 | 107 | | 278 | 278 | 329 | △ 51 | 3 | 3 | 3 | | - | 9 | 12 | △ 3 | | |
| 6 | 騎西中 | 93 | 146 | 122 | | 361 | 361 | 437 | △ 76 | 3 | 4 | 4 | | - | 11 | 17 | △ 6 | | |
| 7 | 北川辺中 | 37 | 51 | 44 | | 132 | 132 | 205 | △ 73 | 1 | 2 | 2 | | - | 5 | 8 | △ 3 | | |
| 8 | 大利根中 | 124 | 117 | 127 | | 368 | 368 | 316 | 52 | 4 | 3 | 4 | | - | 11 | 12 | △ 1 | | |
| 中学校計 | | 737 | 776 | 835 | | 2,348 | 2,348 | 2,741 | △ 393 | 23 | 24 | 26 | | - | 73 | 102 | △ 29 | | |
| [小・中学校計] 児童生徒数計 | | | | | | | 6,233 | | 7,645 | △ 1412 | 学 級 数 計 | | | | | - | 250 | 348 | △ 98 |

今後の取組について

1 基本計画策定スケジュール

基本計画策定の主なスケジュールは以下のとおり。

| 区分 | R7年度 | | R8年度 | | | |
|------|--------|------|--------------------|--------|-----------------|-------|
| | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 |
| 基本計画 | 計画素案作成 | | 事前の意見募集 | 計画素案作成 | 保護者や地域住民との意見交換会 | 計画案作成 |
| 審議会 | 条例施行 | 諮問 | グループワークの手法を取り入れた審議 | | | 答申 |

▲
現時点

2 基本計画(素案)の作成

基本計画(素案)は、基本計画の核心部分となる、再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など、学校再編の具体について整理するもの。

現在、審議会において審議を重ねる中、丁寧さとスピード感を両立させるため、「審議と同時並行で、意見募集や意見交換会を行う」という新たな手法を取り入れている。

これは、意見募集や意見交換会で把握した市民等の声を審議会にフィードバックし、審議の深まりをもたせるといった狙いもある。

基本計画(素案)をまとめる時期は、基本計画の核心部分に触れる前の骨子の段階で前もって「事前の意見募集」を5月頃に行い、この意見募集を踏まえ審議会での審議を重ね、基本計画(素案)を8月頃にまとめることを予定している。

なお、基本計画(素案)をまとめるまでの審議内容は、資料8の①に示す「主な協議内容(予定)」のとおり。

3 事前の意見募集

- 1 目的 基本計画の核心部分に触れる前の骨子の段階で前もって、事前の意見募集を行い、審議会における基本計画の核心部分となる学校再編の具体の審議に生かす。
- 2 対象 こどもたちやその保護者、学校運営協議会委員など
- 3 実施方法 具体的な実施方法は、今後の審議会での協議

4 意見交換会

- 1 目的 基本計画の核心部分となる、再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など、学校再編の具体について整理する基本計画(素案)に対する意見交換会を行い、保護者や地域住民との合意形成につなげていく。
- 2 対象 保護者や地域住民など
- 3 実施方法 具体的な実施方法は、今後の審議会での協議